

## 再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	交通安全対策事業（歩道及び自転車歩行者道設置事業）				
地区名	主要地方道 <sup>なごやへきなん</sup> 名古屋碧南線 <sup>おいわけちよう</sup> 【追分町工区】				
事業箇所	<sup>おおぶしおいわけちよう</sup> 大府市追分町地内				
事業のあらまし	<p>本路線は、名古屋市から大府市中心部を縦断し碧南市を結ぶ幹線道路である。また、国道23号や第二東名古屋南ICが大府市と名古屋市の市境で本線に接続しており、交通量が非常に多い路線である。</p> <p>本区間は、JR東海道本線共和駅と大府駅の間部東側に位置し、前後区間は既に幅員18mで整備済みとなっている。しかしながら、本区間は歩道が未整備となっているため、歩行者や自転車と自動車の通行が錯綜し、非常に危険な状態となっており、早期の自歩道設置が望まれている。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者等の安全確保</li> </ul> <p>【副次目標】（必要に応じて記載する）</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事業採択時 (2006年度)	再評価時 (2023年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2007～2012年度	2007～2025年度	用地買収難航につき 事業期間延長	
	事業費（億円）	5.0	4.0	事業費精査に伴う減額	
	経費内訳	工事費	0.7		0.7
		用補費	4.2		3.2
その他	0.1	0.1			
事業内容	歩道設置 延長：L=0.24km (延べ0.48km) 幅員：W=18.0m	歩道設置 延長：L=0.24km (延べ0.48km) 幅員：W=18.0m	変動なし		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>前後区間は既に幅員18mで整備済みであるが、本区間は歩道が設置されていないため、歩行者の安全な通行空間が確保されていない。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>現状においても、歩道が設置されていないため、依然として危険な状況である。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>—</p>			
	判定	B	<p>A：事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>ⓑ：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>		

		<p>【理由】</p> <p>事業着手時の課題が依然としてあり、事業の必要性があると判断されるため。</p>																																																																																																																																											
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2007</th> <th>～</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>当初計画</td> <td colspan="3">3.0</td> <td colspan="3">2.0</td> <td colspan="3">0.0</td> <td colspan="3">5.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="3">2.8</td> <td colspan="3">0.2</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">3.0</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="3">3.0</td> <td colspan="3">0.0</td> <td colspan="3">1.0</td> <td colspan="3">4.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>達成率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.48</td> <td>0.24</td> <td>50</td> <td>0.48</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>4.0</td> <td>3.0</td> <td>75</td> <td>4.0</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>0.7</td> <td>0.4</td> <td>57</td> <td>0.7</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>  用補費</td> <td>3.2</td> <td>2.5</td> <td>78</td> <td>3.2</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>100</td> <td>0.1</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※面積ベースの用地取得率は94%</p> <p>【施工済みの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度末時点で、事業区間の50%にあたる240mの歩道が整備済み。</li> </ul>			2007	～	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	合計	工種 区分	調査・設計	←	→												用地補償	←										→			工事	←	→									←	→		事業費 (億円)	当初計画	3.0			2.0			0.0			5.0			実績	2.8			0.2						3.0			今回計画	3.0			0.0			1.0			4.0				これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.48	0.24	50	0.48	50	事業費(億円)	4.0	3.0	75	4.0	75	工事費	0.7	0.4	57	0.7	57	用補費	3.2	2.5	78	3.2	78	その他	0.1	0.1	100	0.1	100
			2007	～	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	合計																																																																																																																														
	工種 区分	調査・設計	←	→																																																																																																																																									
		用地補償	←										→																																																																																																																																
		工事	←	→									←	→																																																																																																																															
	事業費 (億円)	当初計画	3.0			2.0			0.0			5.0																																																																																																																																	
		実績	2.8			0.2						3.0																																																																																																																																	
		今回計画	3.0			0.0			1.0			4.0																																																																																																																																	
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																								
		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】																																																																																																																																							
延長(km)	0.48	0.24	50	0.48	50																																																																																																																																								
事業費(億円)	4.0	3.0	75	4.0	75																																																																																																																																								
工事費	0.7	0.4	57	0.7	57																																																																																																																																								
用補費	3.2	2.5	78	3.2	78																																																																																																																																								
その他	0.1	0.1	100	0.1	100																																																																																																																																								
2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地補償交渉に際し、補償の方法や代替地の条件など個々の地権者の理解と協力を得るために時間を要している。</li> </ul>																																																																																																																																												
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地買収（関係地権者が多く、個別の交渉に時間を要する）</li> </ul> <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地買収は面積ベースで約9割まで進捗している。引き続き、粘り強く用地交渉に努めることで、2025年までに完了させる見込みである。</li> </ul>																																																																																																																																												
判定	B	<p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>○これまで事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																																																																											
	【理由】	<p>用地補償に時間を要しているが、粘り強く用地交渉に努めることで、2025年までの事業完了が見込まれるため。</p>																																																																																																																																											

Ⅲ 対応方針	
<b>継続</b>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。          継続：上記以外のもの。</p>
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目）    □対象外          【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】          -</p> <p>【主な評価内容】          ・自転車及び歩行者の通行に係る安全性の改善状況</p>	